

## 第18回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告

日時：平成25年12月17日（火）午後15時から

場所：京都府立大学 ホール2

講師：大野浩章（京都大学大学院薬学研究科 准教授）

「金触媒を用いた骨格構築反応の開発と生物活性化合物合成への応用」

講師：村田 靖次郎（京都大学化学研究所 教授）

「フラーレンの骨格変換反応を駆使した内包フラーレンの有機合成」

参加者：学部学生、大学院学生、教員

参加者総数：約35名

大野先生からは、金を触媒とした連続反応による多環式芳香環の一挙構築反応の開発や、本反応を用いた天然物合成についてご講演を頂いた。また村田先生からは、フラーレンに開口部をつくり、空孔に水素、窒素、水、ヘリウムなどの小分子を導入し、最後に開口部を閉じる事で内包フラーレンを構築する方法と、その物性についてご講演いただいた。

参加者は他大学の教官、生徒や、生命分子化学科の2回生を含む、約35名の参加者となった。いずれの講演も活発な質疑応答がなされ、5時半に終了した。（樫 一典）

